

▼パウロ年開年ミサ
6月28日(日) 14時
浦上教会

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
発行人 中田 輝次
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095(843)3869 FAX 095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp
印刷所 株式会社 藤木博英社
〒850-0852 長崎市万屋町5-13
TEL 095(821)2146 FAX 095(821)2148



6月・教皇さまの意向のために祈りましょう

- ①一般の意向：対外債務の取り消し
- ②宣教の意向：暴力が支配する地域での教会
- ③日本教会の意向：聖体と貧しい人への奉仕

大司教区昇格50周年記念ミサ 新たな飛躍のために祈る

5月3日、午後3時から浦上教会司教座聖堂で「大司教区昇格50周年」を記念するミサがさげられた。高見三明大司教主司式のもと、20余人の司祭と、午前中から教区評議会のために集まっていた信徒、また昇格50周年を喜び合う修道者・信徒がミサに集った。

に立ち会っていない世代の参列者も含め、朗読を聞いた参列者から喜びを新たにする大きな拍手が上がった。



高見大司教は説教の中で、長崎大司教区というのは、特別な歴史を持っている教区であるという

7月1日福者の記念日を迎えるこの機会に、いただいた感謝のことは掲載します。

列福式の成功に
溝部 脩委員長から
感謝のこぼ

長崎大司教区
高見三明大司教様

主の平和
今回長崎において、盛大にベトロかすい岐部と187日本殉教者の列福式が挙行されたことを心よりお慶び申し上げます。

これもひとえに、長崎大司教区の司祭たちと教区民の並々ならぬお働きがあつたから成つたものでした。参加した方々は口を揃えて、その成功を褒めたたえています。

わたしたち特別委員会もこれを見事な形で実現してくださったことに心

2008年12月10日
列聖列福特別委員会
委員長 溝部 脩

ただではなくて、他の長崎教会管区にある教区に對して、第1位の責任を持つていると考えるべきであると強調した。この責任は、長い歴史の中で受け継いできた強い信仰を、今の時代にどのような力強く生きるか、特に若い世代にどのように生き方を示すかで果たされることを理解してほしいと求めた。

大司教の呼び掛けに応え、教区民すべてが、長崎大司教区の名に恥じないような質の高い教区づくりに向けて、大司教と共に力を合わせていかなければならない。

わたしたちは、長崎教区、福岡教区、鹿児島教区を東京首都大司教区の裁治権より除外し、これら3つの教区をもつて新しい教会管区として設立し、長崎教会管区と呼ぶこととする。その主たる教会は長崎教区であり、これを首都大司教区に昇格させる。福岡教区と鹿児島教区は、所轄教区としてそれに従属する。法の規定に従って首都大司教座に与えられる権利、名譽、権能および特權を、この大司教区と大司教に与える。従つて、大司教は、教会管区内において、聖なる儀式の中で十字架を先立たせ、枢機卿會議で与えられるパトリウムを用いることができる。これまでも長崎の司教であった敬愛する兄弟パウロ山口愛次郎司教を、この初代首都大司教として立て、公示する。むろん、同大司教にはその高位にふさわしい権利が与えられ、責務を課せられる。同大司教が、これまで賢明に教区を治めてきたように、これからも極めて賢明に治めることが望まれる。

ところで、敬愛する兄弟である駐日教皇使節は、この文書が提示されるよう配慮しなければならぬ。あるいはふさわしい聖職者を立て、彼にそのために必要な権能を付与して委任することもできる。実施後、使節は、文書が書き留められるよう命じ、その真正の写しを布教聖省に早急に送らなければならない。この文書が今も、またこれからも効力を持つことを、すなわちこの文書をもつて

ローマ、聖ベトロのかたわらにて、
教皇在位第1年、1959年5月14日

大勅書 長崎大司教区昇格

神のしもべのしもべ、司教ヨハネ、
ことがらを永久に記念するために。
わたしは、聖なる教会がいくつもの国でキリスト教に敵対する人々から迫害されていることを日々深く悲しんでいる。しかし、ほかの諸民族の間では教会が繁栄しているということは大きな喜びである。そこでは、教会が、聖なる霊の導きにより、進展拡大し、大きく発展成長して諸国民に救いをもたらしているからである。布教聖省で任務に当たる尊敬するわたしの兄弟たちは、このようなことが特に日本において実現しているとして、この地に新しい教会管区が設立されることの良いことであり、大きな希望をもたらすと判断した。それゆえに、全世界に広がる主の群れを委ねられたわたしは、これらのことをすべて確認し、このことについて何らかの権利を有する人々の同意を得、バルテウス名義大司教である尊敬する兄弟マクシミリアン・ド・フルステンベルグ駐日教皇使節の意見を聞いた上で、わたしの最高權威をもつて以下

し、これら3つの教区をもつて新しい教会管区として設立し、長崎教会管区と呼ぶこととする。その主たる教会は長崎教区であり、これを首都大司教区に昇格させる。福岡教区と鹿児島教区は、所轄教区としてそれに従属する。法の規定に従って首都大司教座に与えられる権利、名譽、権能および特權を、この大司教区と大司教に与える。従つて、大司教は、教会管区内において、聖なる儀式の中で十字架を先立たせ、枢機卿會議で与えられるパトリウムを用いることができる。これまでも長崎の司教であった敬愛する兄弟パウロ山口愛次郎司教を、この初代首都大司教として立て、公示する。むろん、同大司教にはその高位にふさわしい権利が与えられ、責務を課せられる。同大司教が、これまで賢明に教区を治めてきたように、これからも極めて賢明に治めることが望まれる。

て当該者たちによつて決定されたことが敬虔に守られ、また、その効力が保持されるよう望むものである。この文書の有効性は、いかなる相反する規定も、それがどのようなものであれ、これを妨げることはできない。わたしは、この文書をもつてそれらすべてを廃止するからである。従つて、いかなる權威を持つていない者であつても、知っているにせよ知らないにせよ、わたしが命じたことに反して行動する者があれば、それが無益かつむなしなことであると見なされるよう命じる。

さらに、誰であれ、このわたしの意志を伝える文書を裂いたり破損させたりすることは許されない。むしろ、この文書のあるいは印刷し、あるいは手で書き写し、ふさわしい聖職者として立てられた人々が押印し、公証人が署名し、もし提示されるならそれまでと同じく完全に信頼に値するものとされなければならない。もし誰かがわたしの決定全般を、あるいは拒絶しあるいは何らかの方法で軽視するなら、その者は諸教皇の命令を執行しない人々に対し、法によつて定められた処罰を受けることを知らなければならない。

ほしむぎ

5月3日に行われた「大司教区昇格50周年記念ミサ」に出席した。義理堅い信徒は忠実に参加したとしても、司祭はどれだけ参加するだろうか」と心配していた。都合がつかなかったのか、25人もいなかった。「入堂は、2列ではなく1列でお願いします。」儀典長がそのようなお願いをするのを初めて聞いた▼「ミサのお知らせで、いつ小教区に届いた？」そんな司祭の声をちらほら聞いた。記念ミサに参加しましたよという広報活動が足りなかったのだなと感じた。その責任の一端は広報委員会にもあるだろう。うつむきながら入堂した。いちばんの責任は誰だろうかとあらぬ想像すらしていた▼ミサが始まった。1つの出来事で救われた思いだった。6歳の女の子が家族と一緒にミサに参加して、浦上の聖堂いっばいに響くかわいいうちで、ほとんどすべての歌と祈りを立派に唱えた。信仰宣言を唱えている小さな女の子に、出席したすべての人が気づき、耳を澄ましたに違いない。心洗われる光景だった▼閉祭の歌で司祭が退堂するとき、わたしは駆け寄つてステキな声を褒めた。女の子は、大司教区昇格50周年を祝福するために神が遣わしてくださった天使かもしれない。新芽は、老木古木のあとに出る。50年間大司教区を支えてくれた人々のあとに芽生えたこうした新芽に光を当て、大切に育てていかなければならない。

大司教「司牧書簡(4月12日付)」から

【司祭年】
ベネディクト16世教皇さまは、去る3月16日、教皇庁聖職者省総会において、聖ヒアンネの没後1500年を記念して「パウロ年」を閉じる10日前の6月19日から来年の6月19日までを「司祭年」とすると発表されました。テーマは「キリストと司祭職への忠実」となっています。行事より、生き方を通して教皇さまの意向に沿うことを考えましょう。(※)

- 【教区委員会再編】
昨年度から、教区委員会は、大きく3つの部から成る形で再出発しました。「信仰養成部」は、わたしたち教会共同体の絶えざる刷新のため、「福音化推進部」は、わたしたちが世の中にあつて世の福音化に取り組むため、「教会奉仕者等養成部」は、先の2つの部を推進するために必要な人材を養成するために活動します。そして、7月1日には、「福者ベトロ岐部司祭と187殉教者」の最初の記念日を祝います。このような状況の中で、長崎教区として次のような方向付けを考えています。
1. 教区共同体の内的刷新
 2. 社会の福音化
 3. 教会奉仕者等の養成

- (1) 参加し、交わり、宣教する共同体づくりの継続
- (2) 長崎教会管区の視野に立つた考え方を教区シノドス(教区代表者会議)の開催に向けて
- (3) 直接宣教を常に試みる：求道者を募る使徒職(ヴィンセンソ会、カリタスジャパン、一葉募金)や運動(たとえばフォコロレ)に協力あるいは参加する。

これをもつてまずは向こう1年の指針としたいと思います。それぞれの場で具体化できることから始めるよう、皆さま方のご理解とご協力をお願いいたします。一方、司教団は6月の定例司教総会で今後の日本の教会の方向付けを模索します。

(※)「よきおとずれ」では、「司祭年」に合わせ連載企画を設けています(2面)。司牧書簡全文は、カトリック長崎大司教区ホームページに掲載します。

『ベトロ岐部司祭と187殉教者列福式公式記録集』 2009年6月末発行予定



収録内容
教皇代理一行、列福式(参加者、式典、報道)、前夜祭・感謝ミサ・関連行事、列福者名簿、列福関連公式コメント集、関係者・協力者・参加者の声、列聖に向けての動き、他の列福運動の紹介など

A4判上製 128頁(うちカラー40頁) 定価(本体2,000円+税)
カトリック書店にて販売予定
発行：カトリック中央協議会(問合先) 出版部 TEL03-5632-4429

人事異動・任命

▼御受難修道会
染野 治雄師 福岡黙想の家(城山教会助任)

6月

1964年3月、わたしは感謝と希望のうちに司祭職のお恵みをいただいた。同年10月に東京オリンピックが開催されたことから考えると、戦後の混乱期からようやく抜け出し、国の経済全体に活力が出てきたころであつたと思われる。しかし経済的な成長とは裏腹に政治的には不安定な状況が続いていた。とくに60年安保闘争を契機として全国に広まったデモ、ゲバ棒、バリケードによる学校封鎖、連続するストライキなどに象徴される学生や労働者の社会運動は、国の命運を左右するまでにエスカレートしていたところである。

「司祭が司祭であるために」①
お釣りのいのち
小島 栄

議では、司祭職の解釈にす事態にさらされてきた。それらはおおむね権威主義のなせる業であつた。そのような状況(教会の姿勢の転換期)の中で叙階された司祭たちは、戸惑いながらも時代に順応しようと模索と努力を続



す事態にさらされてきた。それらはおおむね権威主義のなせる業であつた。そのような状況(教会の姿勢の転換期)の中で叙階された司祭たちは、戸惑いながらも時代に順応しようと模索と努力を続

がうち出された。思えば教会は長期にわたって世界に君臨してきた。異議異論を唱えるものを排斥し断罪してきた。そのために幾千幾万の信徒が悲劇的な運命にもてあそばされ、命までも落

が最近ひとつの衝動に駆り立てられていた。それは海外宣教である。96年10月に受けた心臓冠動脈のバイパス手術の前後、医師から受けた説明で1ミリの開いていない血管について、「これまでに何回死んでも不思議ではなかった」と言われ、樂觀主義者を標榜していたわたしは神妙な気持ちになつた。そして切り離された心臓は数時間容器に保管され、縫合された後蘇生という荒技を受けた。わたしはいちど死んだと思つてゐる。いま生きているのはお釣りの命をいただいたと思つてゐる。神学生時代に動乱中のベトナムの神学生からもらつた「ヘルプ」の手紙に、わたしは応えること

が最近ひとつの衝動に駆り立てられていた。それは海外宣教である。96年10月に受けた心臓冠動脈のバイパス手術の前後、医師から受けた説明で1ミリの開いていない血管について、「これまでに何回死んでも不思議ではなかった」と言われ、樂觀主義者を標榜していたわたしは神妙な気持ちになつた。そして切り離された心臓は数時間容器に保管され、縫合された後蘇生という荒技を受けた。わたしはいちど死んだと思つてゐる。いま生きているのはお釣りの命をいただいたと思つてゐる。神学生時代に動乱中のベトナムの神学生からもらつた「ヘルプ」の手紙に、わたしは応えること

が最近ひとつの衝動に駆り立てられていた。それは海外宣教である。96年10月に受けた心臓冠動脈のバイパス手術の前後、医師から受けた説明で1ミリの開いていない血管について、「これまでに何回死んでも不思議ではなかった」と言われ、樂觀主義者を標榜していたわたしは神妙な気持ちになつた。そして切り離された心臓は数時間容器に保管され、縫合された後蘇生という荒技を受けた。わたしはいちど死んだと思つてゐる。いま生きているのはお釣りの命をいただいたと思つてゐる。神学生時代に動乱中のベトナムの神学生からもらつた「ヘルプ」の手紙に、わたしは応えること

長崎教区評議会

2009年度総会

5月3日、教区評議会総会がカトリックセンターホールで開催された。各地区評議員ら出席のもと10時から開始。はじめに会長あいさつ、会務報告、2008年度決算・活動報告があり、役員選出と任命、09年度活動方針・計画・予算の審議、評議員の紹介と続いた。

その後、小瀬良 明教区評議会事務局長の講話を聴き、地区に分かれての分団会と全体のパネルディスカッションでは、それぞれの立場からさまざまな意見が交わされ、今後の活動につながる意義深い総会となった。



午後3時から、長崎教区の大司教区昇格50周年記念ミサが浦上教会で行われた。(一面参照)

【地区評議会】
長崎北地区
会長 中村 満(滑石)
副会長 中村倫明(植松)
議長 松山勝則(滑石)
副議長 中村義幸(長与)

【地区評議会】
長崎北地区
会長 中村 満(滑石)
副会長 中村倫明(植松)
議長 松山勝則(滑石)
副議長 中村義幸(長与)

【地区評議会】
長崎北地区
会長 中村 満(滑石)
副会長 中村倫明(植松)
議長 松山勝則(滑石)
副議長 中村義幸(長与)

【地区評議会】
長崎北地区
会長 中村 満(滑石)
副会長 中村倫明(植松)
議長 松山勝則(滑石)
副議長 中村義幸(長与)

「平和学」大学院
創設を目指しワー
クショップ開催

5月24日、長崎原爆資料館ホールで人間の安全保障に関する国際ワークショップ(同実行委員会主催)が開催された。これは「人間の安全保障」などに関する知見を深めるとともに、日本初の「平和学」大学院創設を目指した運動への理解と賛同を集めることを目的に行われたもの。

【下五島地区】
会長 下口 勲(福江)
副会長 真浦健吾(浦頭)
議長 宮崎 猛(福江)
副議長 葛島幸則(奈留)
書記 川口眞佐代(婦人会)
書記 赤岩耕一(水の浦)

【共に歩む旅】(旅程入門講座) 6月2日(土)30日の毎週火曜日(全5回) 19時~21時 中町教会信徒会館 3千円
問合せ先・小共同体推進室
TEL 095(842)4450

【共に歩む旅】(旅程入門講座) 6月2日(土)30日の毎週火曜日(全5回) 19時~21時 中町教会信徒会館 3千円
問合せ先・小共同体推進室
TEL 095(842)4450

【共に歩む旅】(旅程入門講座) 6月2日(土)30日の毎週火曜日(全5回) 19時~21時 中町教会信徒会館 3千円
問合せ先・小共同体推進室
TEL 095(842)4450

【共に歩む旅】(旅程入門講座) 6月2日(土)30日の毎週火曜日(全5回) 19時~21時 中町教会信徒会館 3千円
問合せ先・小共同体推進室
TEL 095(842)4450

【共に歩む旅】(旅程入門講座) 6月2日(土)30日の毎週火曜日(全5回) 19時~21時 中町教会信徒会館 3千円
問合せ先・小共同体推進室
TEL 095(842)4450

2009年度 教区司祭黙想会

期 日: 6月9日(火)~12日(金)
説教師: 林 尚志 師(イエズス会)
会 場: カトリック長崎大司教館
6月12日(金)午前10時15分からの高見大司教講話には、修道会の神父さま方もご参加くださいますよう、ご案内いたします。実り豊かな黙想会となりますよう、司祭のためにお祈りください。

訂正
5月号2面の「長崎大司教区現勢統計表」で一部誤りがありました。左記の通り訂正いたします。
2008年度(司祭・他)
(誤) 1,051人
(正) 1,053人
2008年度(総数)
(誤) 64,216人
(正) 64,218人

【共に歩む旅】(旅程入門講座) 6月2日(土)30日の毎週火曜日(全5回) 19時~21時 中町教会信徒会館 3千円
問合せ先・小共同体推進室
TEL 095(842)4450

【共に歩む旅】(旅程入門講座) 6月2日(土)30日の毎週火曜日(全5回) 19時~21時 中町教会信徒会館 3千円
問合せ先・小共同体推進室
TEL 095(842)4450

【共に歩む旅】(旅程入門講座) 6月2日(土)30日の毎週火曜日(全5回) 19時~21時 中町教会信徒会館 3千円
問合せ先・小共同体推進室
TEL 095(842)4450

講演会
永井 隆博士の思想を語る IV・V
第4回講演 2009年7月5日(日)
「永井 隆の思想を語る(続)」
講師: 山下俊一(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科長)
第5回講演 2009年7月19日(日)
「永井 隆の福祉観ーキリスト教的生活の完成をめざして」
講師: シスター山田幸子(長崎純心大学教授)
場 所: 長崎市立図書館 多目的ホール(長崎市興善町1-1)
時 間: 14時~16時 ※資料代など300円(当日会場にて)
問合先: 「永井 隆博士の思想を語る」講演会実行委員会
TEL 095-862-1892 (小畑)

車イスでお墓参り可 祈りの丘
祭壇前、規格墓碑一切(即納骨可) 210万円
小江原ニュータウン、夢が丘NT県道向かい、車50台以上
長崎大理石 (TEL) 095-839-0374
実績 城山教会墓地 飽の浦教会墓地 他 多数
浜串教会墓地 青砂ヶ浦教会墓地
主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式
(有) 栄光式典社
代表取締役 西村 勇二
長崎市辻町7-18 TEL(095)844-4011
24時間営業 FAX(095)843-9896

黙想会のお知らせ
テーマ: 「イエス・キリストにいつそう近く従うために」
日 時: 2009年7月25日(土)10時~26日(日)15時
(受付時間に間に合わない方はご連絡ください)
場 所: 長崎市 立山イエズス会黙想の家
指 導: ディアス神父様(イエズス会)
対象者: 独身女性 費 用: 3,000円
締 切: 7月15日
連絡先: 〒670-0801 兵庫県姫路市仁豊野650
聖フランシスコ病院修道女会(Sr. 佐藤弘子)
TEL 079-265-5111 FAX 079-264-4320
(E-mail) philippa@hsosf.or.jp

霧雨に包まれた雲仙殉教祭



記念碑前で

第26回「雲仙殉教祭」(教区主催)は、5月17



植松教会の小学生



日雲仙メモリアルホールで高見三司大司教主司式のもと、韓国水原教区の引退司教1人、韓国の司祭3人と30余人の長崎教区・修道会司祭によって行われた。午前中の霧雨にもかかわらず、ミサには信徒・修道者約1800人が参列した。ミサに先立つあいさつで若林潔実行委員長は、殉教者の列福を願って26年間続けた殉教祭が、去年実を結んだと述べた。

永井隆博士の命日追悼ミサ(主催実行委員会)は4月26日博士、緑夫人が眠る長崎市坂本国際墓地で赤尾満治神父司式のもと行われ50余人が参列祈りをささげた。

列は中止。大司教、中村満師が記念碑前で祈った。で教会葬。14日長崎名誉市民市葬として浦上教会で行われた。参列した市民は2万余人、聖堂前広場に溢れた。

聖母祭を準備する 教区典礼委員会主催の研修会「聖母祭を準備する」が、4月29日(祝)10時半から16時までカトリックセンターホールで開かれ、約120人が参加した。



さ強調した。続く歌の研修では谷崎新一郎神父(コンベンツアル聖フランシスコ修道会)が「聖母マリアを讃えて」作詞・作曲した9曲を紹介。ギター伴奏に合わせ、曲に込められた意味を深め皆で歌った。最後は、祈りの集いの一例を歌や朗読で実演、具体的な方法や全体の流れのイメージを確認した。限られた研修会の時間の中で、聖母祭を準備する上での留意点が分かりやすくまとめられ、参加者は実りある時間を過ごした。

日曜日の午後にはパウロに...

長崎南・中地区主催 話とシンポジウム、講演

「日曜日の午後にはパウロに会いに行こう」と、長崎南地区評議会主催のお話とシンポジウムが現在、中町教会で行われている。



「わたしたちは、聖書と祈りと典礼の中でイエスに出会う」ことを紹介。パウロの宣教の意味や、それが過去と現在のわたしたちに特に浦上の例をあげながら、どのような役割を果たしてきたかに視点を置いて分かりやすく説き、参加者は興味深

く新年度のスタートは、責任の重さは違いますが」と真顔で第一声。ジョーンズ姿で走り回る。部屋の一角に特別な違和感は見られない。

「聖母の騎士社」代表 編集長 赤尾満治神父 初誓願の1989年、コルベ記念館で両親に感謝の意味で作詞・作曲した「ぼくが今言えること」を披露、来賓の皆さんから絶大な賛辞を浴びた。

「ぼくが今言えること」を披露、来賓の皆さんから絶大な賛辞を浴びた。

「ぼくが今言えること」を披露、来賓の皆さんから絶大な賛辞を浴びた。

「パウロという人間が身近に感じられた」との声が聞かれた。最終回のシンポジウム「もっと知りたいパウロ」は、6月21日(日)13時から中町教会聖堂で行われる。

「もっと知りたいパウロ」は、6月21日(日)13時から中町教会聖堂で行われる。

「もっと知りたいパウロ」は、6月21日(日)13時から中町教会聖堂で行われる。

「もっと知りたいパウロ」は、6月21日(日)13時から中町教会聖堂で行われる。

「もっと知りたいパウロ」は、6月21日(日)13時から中町教会聖堂で行われる。

「もっと知りたいパウロ」は、6月21日(日)13時から中町教会聖堂で行われる。

「もっと知りたいパウロ」は、6月21日(日)13時から中町教会聖堂で行われる。

「もっと知りたいパウロ」は、6月21日(日)13時から中町教会聖堂で行われる。

夏期哲学・神学養成講座

開催日時: 2009年7月30日(木) 9:00~8月8日(土) 14:00
場所: 日本カトリック神学院・福岡キャンパス 福岡市城南区松山1-1-1
宿泊: 定員18名(女子のみ) 1日5,000円(食費を含む・8/2夕食なし・開催前日と最終日も宿泊可 夕食はなし) ☆上記以外の宿泊は、各自で手配お願いいたします。宿泊されない方の食事は、一食600円です。
申し込み: 6月30日(火)までに、〒住所、氏名、電話番号、受講科目、講師による評価(全科目10,000円/1科目1,200円)の有無記入の上、FAXで。
当日支払いをご希望の方は、その旨を記入してください。振込みの場合は下記に。
郵便振込先: 00180-3-25413 臨床パストラルケア教育研修センター
申し込み/問合せ先: NPO臨床パストラル教育研究センター本部事務局
TEL03-3700-3425/FAX03-3700-3427

☆この講座に関する神学院への問い合わせはご遠慮ください。

講義内容(9:00~12:20・14:00~17:50 午後は講義および課題・レポート作成)

2009年	講義科目	講師
7月30日(木)	倫理神学概論(善と悪)	牧山 強美
7月31日(金)	宗教概論	阿部 仲麻呂
8月1日(土)	哲学概論I	谷 隆一郎
8月2日(日) 午前のみ	神学的人間論	大山 悟
8月3日(月)	聖書学概論	ベルナルド・クエン
8月4日(火)	旧約聖書I	和田 幹男
8月5日(水)	新約聖書I	川原 昭如
8月6日(木)	生命と性の倫理	中村 倫明
8月7日(金)	霊性神学I(基礎)	白浜 満
8月8日(土) 午前のみ	病者の塗油	白浜 満

受講料: 全科目25,000円/1科目につき3,000円(ただし8月2日・8月8日は1,500円)

準備するもの: 「新・旧約聖書」・第2バチカン公会議公文書

田平教会報「瀬戸山の風」が5月号の発行で300号(発行責任者、市瀬輝秋)を達成した。主任島山邦夫神父は「25年間の積み重ねの結果です。毎月こつこつと人知れず携わり、ご苦労してくださっている広報委員のスタッフに、いつも頭が下がる思いです」と300号発行のお祝いとして、初代編集委員長山



内政氏は「かわら版からホームページまでの進化」と題して、ワープロ印刷、コピー機の故障でガリ版刷りで発行をしたことなど苦労話を書き興味深く読ましてくる。中面は信徒総会、婦人会より、パウロ年にあたって夫津木 昇神父の連載企画。青山伝心 人物春秋 社会の窓 シスター紹介 教会訪問者の感想ノートなど。

300号のお祝いの言葉に歴代広報編集委員長 教会報発行後の歴代主任大山、下川英利神父の言葉も。3代目の前田万葉師(現中央協議会事務局長)は着任3年目に教会報200号を記念する『瀬戸山の風』命名にかかわったという。「三百号新たに息吹け降臨祭」と句を寄せる。

不登校について考える(全3回)

第1回 不登校の現状

日本の家族の80%は「家族機能不全」だという学者がいる。家族機能不全とは、問題を抱えているために家族の機能を果たしていない家族を指す。不登校生の多くは家族機能不全の家庭から出ると言われ、これが本ならばこの家庭から不登校生が出ておかしくない。



(若者自立支援 ドリームカムホーム主宰 川井 健蔵)



高校に進学してから学校に行けなくなる人も多い。高校は出席日数が不足すると進路変更を求められる。2007年度、全国で7万2千人余りが高校を中退した。中卒で就職する生徒は全国で毎年8000人余りである。その9倍の人が高校を中退する。高校中退者は厳しい社会の現実を直面し、劣等感・焦燥感を持ち、孤立無援で社会の荒波でまがっている姿がある。

不登校生を怖いと思っている人がいるが、これは非行と不登校生の区別ができていないからである。親が甘やかすから、子どもが甘えているから不登校になるのだと勘違いをしている人もい

長崎県の中学校では1クラスに1名以上の長期欠席者がいる。だからあなたの周りを見渡すと登校していない生徒がいるはずだ。1年に30日以上欠席した長期欠席者は、病気・経済的理由・不登校・その他の4つに分類されている。「学校に行きたいのだけれども行けない」児童生徒を不登校に分類している。

長崎県では小中学生の不登校の割合は全国平均を下回っている。しかし全国平均の増加率は横ばいであるのに対し、長崎県は在校生数が減少しているのに数・率とも増加している。

教会で初の献茶式

— 国宝大浦天主堂 —



利休によって400余年にわたって受け継がれてきた表千家の茶道による献茶式が「国宝大浦天主堂」で初めて行われた。主堂「で行われた。カトリックの聖堂での献茶式は初めての試み。主催は表千家同門会長崎県支部。

子供が言いました。他の子供も同じような反応でした。そこで、昨年、初聖体を終わっていた子供たちが、

みことばにふれて

中町教会学校スタッフ



供が「本当だよ。その時におっしゃったのだから、本当だ、と信じている」という思いを込めて叫ぶ。何しろ、イエスさまが

「わたしは命のパンである。このパンを食べるならば、その人は永遠に生きる」(ヨハネ6:48)と。

「ぼくは、今日で5回イエスさまの体をいただいたよ」「ぼくは3回だ」と、ご聖体をいただいた

雲仙殉教祭会場で「列福式」の写真展

「ねー、ねー、みて。わたしの友だちがいるー」「これ、スタンドから祭壇を撮っているのかな」「親子、友人同士の会話がにぎやか



7地区に写真を提供

長崎教区広報委員会は信徒の要望に応え、殉教祭会場のメモリアルホールで、昨年11月24日、長崎県営野球場で行われたベトリ岐部と187殉教者列福式の写真を展示し

写真は教皇代理ジョゼ・サライバ・マルティンス枢機卿の列福宣言、司教団の入場、殉教地ゆかりの土を手に入場する青年たち、仮設祭壇での列福式、会場に聖歌を響かせた合唱団、殉教者の肖像画、子供たちの奉納行列、ご聖体拝領、3万余の参加者で埋め満ちた会場



2009 マリアポリ 5月2日から5日にかけて、フォコラーレ主催のマリアポリが佐世保青少年の天地で開催された。

など40点の写真が列福式を「再現」、参加者の目を引いていた。写真40点は、長崎、佐世保、平戸、上・下五島地区など7地区にそれぞれ近く提供される。

東京から沖縄にいたる約150人が集い、さまざまな世代、仏教徒の参加があった。初日は、高見三明大司教司式によるミサがささげられ、幕開けにふさわしいひとときとなった。

今回は「知恵」をテーマとし、それを得るための生き方を、毎日の生活の中で、共に学び、遊び、折り、分かち合いなどを通して深めた。また、この集いを学校に見立て、初日の入学式をはじめスポーツ大会、ワークシヨップ、卒業式など趣向を凝らしたプログラムに参加者は大きな一致の体験をした。

「わたしたちは苦しみにとどまってしまうが、ここには復活されたキリストの姿が見られる」など参加者の印象を強めた。

石 碑
墓地工事
写真彫刻
墓地分譲

なが さき せき ちょう
長崎石彫

ヨゼフ 岩永 博明
☎(095) 862-2469
長崎市梁川町 6-17 岩永ビル

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売

たつみ産業株式会社
西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 寛己
本社 〒857-1166 佐世保市木風町146番地
TEL (0956) 31-8268

若者自立支援(不登校・ひきこもり・ニートなどのため)

ドリームカムホーム

○相談室(予約後お越しください)
○寮完備(通学・通勤できます)

ベトロ 川井健蔵(浦上教会所属)
〒852-8023 長崎市若草町 6-5 (城山教会敷地)
携帯 090-3609-7654 TEL 095-849-4430